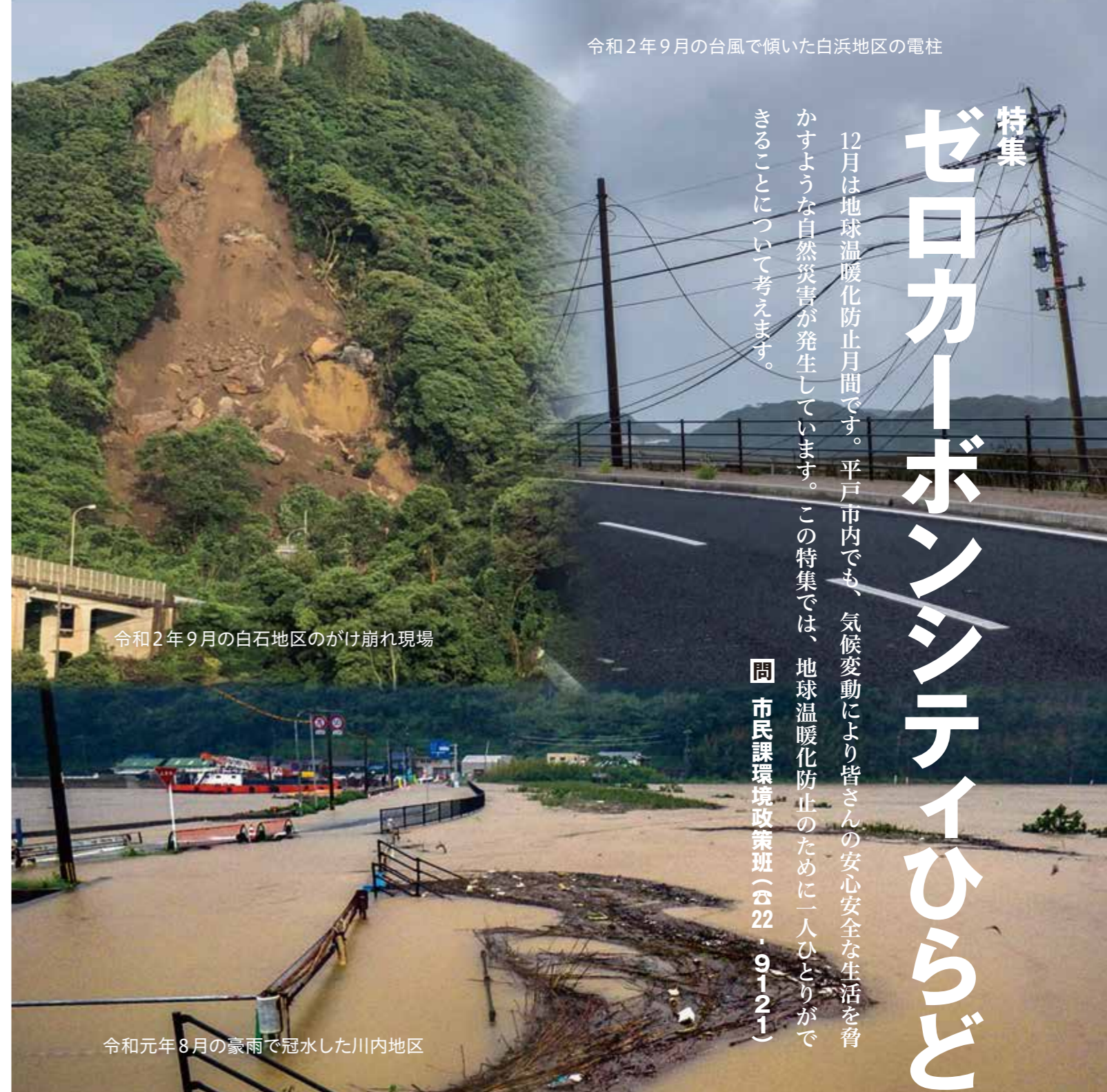


特集

# ゼロカーボンシティひらどでの実現へ

12月は地球温暖化防止月間です。平戸市内でも、気候変動により皆さんの安心安全な生活を脅かすような自然災害が発生しています。この特集では、地球温暖化防止のために一人ひとりができることについて考えます。

市民課環境政策班（☎22・9121）



令和2年9月の白石地区のかけ崩れ現場

地球温暖化により、長崎県内でも、ゲリラ豪雨による土砂災害や、気温上昇による熱中症搬送者の増加など、さまざまな影響が生じています。  
このまま地球温暖化が進行すると、九州北部地方では、非常に激しい雨（1時間に50ミリメートル以上）の回数が約2倍に、猛暑日が約23日も増加すると予測されており、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をはじめとした温室効果ガス排出量の削減が求められています。  
平戸市では、平成26年9月に「CO<sub>2</sub>排出ゼロ都市宣言」を行い、風力・太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入、省エネ家電への買い換えや住宅の省エネルギー化などに取り組んでいます。  
しかし今後、地球温暖化を食い止めるためには、私たち一人ひとりの環境に配慮した行動が重要です。未来のためにも、他人事だと思わず、温室効果ガス排出量の削減を目指して取り組みましょう。

## 世界共通の目標

# カーボンニュートラル

### カーボンニュートラルとは？

カーボンニュートラルとは、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることです。これは、温室効果ガスを全く出さないという意味ではありません。

達成のためには、エコカーの利用などで温室効果ガスの排出量を減らし、植林などで吸収量を増やしていく必要があります。

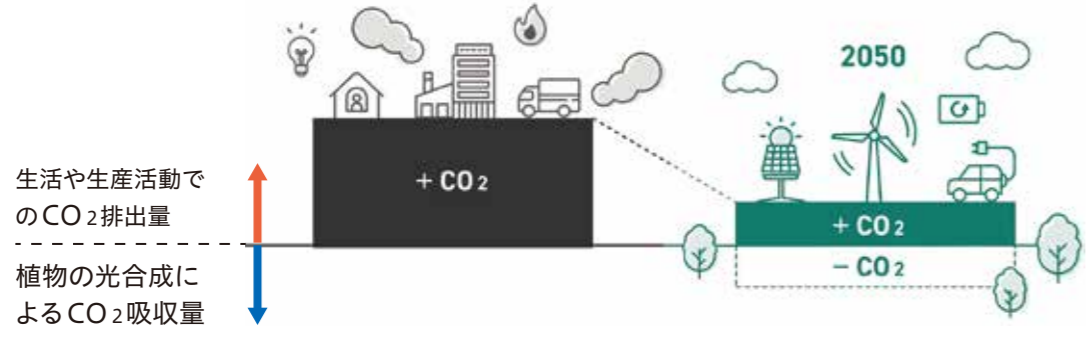
### 達成が求められる理由？

国連の報告書は、人類が居住可能な気候を維持するためには、世界の気温上昇を1.5度までに抑えることが必要だと指摘しています。

現在の地球の気温は、19世紀の産業革命以降、1.1度上昇し、平成19年（令和2年）は、観測史上、最も高い10年間になりました。

気温の上昇を1.5度までに抑えるためには、2030年までに温室効果ガスの排出量をおよそ半分に、2050年までにはカーボンニュートラルを達成する必要があります。

### カーボンニュートラルのイメージ図



このまま進むと…

## 20歳の私たちが48歳になった時(2050年)の世界は…



気温が10度以上上昇？



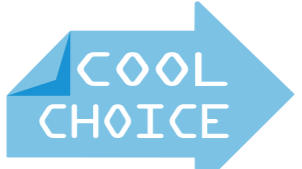
複数の斜面地が崩れる？



港や川の周辺の低地が冠水？



改善のために  
みんなで取り組みましょう！



環境のための  
賢い選択

### 身近なところから取り組みましょう

- エコバッグを持ち歩く
- ペーパータオルを使わずハンカチを使う
- 電化製品をつけっぱなしにしない
- 電球をLEDに変える
- 使い捨て商品を選ばない
- 加速・減速の少ない運転をする

## 地球温暖化対策設備等導入促進事業補助金

平戸市では、地球温暖化対策の一環として、温室効果ガス排出量を削減するために以下の設備を導入する費用の一部を補助します。補助金の交付を希望する人は、必ず設備の設置や購入、登録前に申請してください。

### 太陽光発電システム

**補助額** 1キロワットあたり2万円(上限10万円)

住宅などへの設置に適した未使用のシステムで、システムの最大出力が10キロワット未満のもの。



### 環境配慮型自動車購入

**補助額** 購入費用の2分の1(上限10万円)

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車に限る。

※中古車は対象から除く



### 高効率給湯器

**補助額** 設置・購入費用の2分の1(上限10万円)

※年間給湯効率が2.7以上であるもの

※既存住宅などへの設置に限る

### 家庭用蓄電池

**補助額** 設置・購入費用の2分の1(上限10万円)

蓄電容量が2キロワットアワー以上のもの。

※太陽光発電システムと同時設置可

- 申請期限 ~令和5年2月28日(火)まで ※先着順のため予算額に達した時点で終了
- 受付時間 午後8時30分~午後5時 ※土日祝日を除く
- 申請窓口 平戸市役所市民生活部市民課環境政策班(①番窓口)
- 注意事項
  - ▶補助金は、すべて先着順となります。各補助金とも、予算の範囲内で受付します。
  - ▶この補助事業は「事前申請」になります。設置や購入、登録前に必ず申請してください。
  - ▶補助対象施設ごとに条件などがあります。必ず補助金交付要綱をご確認ください。

## 令和4年度緑のカーテンコンクール



エアコンの使用電力削減と、光合成による吸収でCO<sub>2</sub>を削減する「緑のカーテン」のコンクールを今年度も実施しました。

### ○入賞者

- ▶保育施設の部 東和愛児園
- ▶教育施設の部 山田小学校
- ▶福祉・民間事業所の部 わだつみの里
- ▶一般家庭の部 小川益見さん
- ▶特別賞 田助小学校 平戸祐生園

### 未来の平戸を守るために

世界的に地球温暖化が進行する中で、平戸市でも土砂崩れや冠水などの災害が増え、このままでは気候変動、自然災害は増える一方です。現在、多くの事業者が地球温暖化対策や温室効果ガス削減の取り組みを始めています。平戸市でも、実践的なエコ活動の普及のため、さまざまな事業に取り組んでいます。私たち一人ひとりが心掛けて

行動しなければ、地球温暖化の進行を止めることはできません。日常生活で、節電・節水をする、ごみを最小限に抑えるなど、身近にできることはたくさんあります。一人でも多くの方が、環境保全を意識して行動することが、未来の環境を守ることに繋がります。平戸のまちを守るためにも、カーボンニュートラルの実現を目指しましょう。



### バイオディーゼル燃料を使用する市内事業所

- ▶たんぼぼの里 ▶立石重機工業有限会社
- ▶生月清掃合同会社 ▶港祐産業有限会社
- ▶有限会社鶴丸設備 ▶平戸市市民課

- 1\_長崎空港での高純度バイオディーゼル燃料使用実証実験について、実験車両をメディアへ紹介する(一社)高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会と日本航空(株)の皆さん。
- 2\_平戸市の10トンバキューム車。高純度バイオディーゼル燃料使用の実証実験を終了後、車検も異常なく完了し、本格的に使用を開始しました。
- 3\_回収した廃食用油を整理する山田婦人会の蜜山てる子さん(左)と森永親子さん(右)。家庭から集めた油が環境美化につながることに嬉しいと語ります。

~高純度バイオディーゼル燃料で環境負荷の少ない平戸市へ~

## 有限会社 鶴丸設備

**世界初の高純度を実現**  
現在、平戸市では6事業所が所有する38台の車両で、バイオディーゼル燃料が使用されています。製造するのは、市内で浄化槽の保守点検・清掃業を営む有限会社鶴丸設備。バイオディーゼル燃料は全国で研究が進んでいますが、99.95パーセントという高純度を世界で初めて達成しました。処分される予定だった使用済みの食用油を、山田婦人会(生月町)の協力のもと回収し、自社工場で精製。環境負荷の少ない燃料として、各社へ供給しています。10月には、日本航空が長崎空港で運用する車両1台で、同社の高純度バイオディーゼル燃料を100パー

### Interview



(有)鶴丸設備  
取締役 上田博之さん

自然災害や国際情勢の緊迫化で、エネルギー供給が絶たれた場合、私たちの生活は窮地に立たされることとなります。

そんな時、原料調達から消費まで地産地消が可

能なバイオ燃料があれば、消防車を動かしたり、倒れた人を病院まで連れていくことができます。

また近年、各事業所は、割り当てられたCO<sub>2</sub>排出権を超過すると、炭素税などで事業が圧迫されるようになりました。

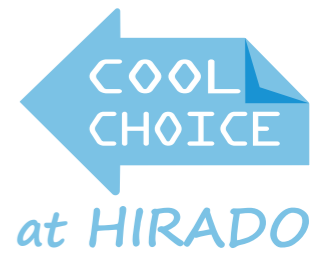
「開発でお世話になっている平戸の皆さんに、カーボンニュートラルの実現で恩返ししたい」という鶴丸か社長の信念のもと、研究に全力を尽くしたいと思います。

セント使用する国内初の実証実験が始まりました。市内の廃食用油の処分量とCO<sub>2</sub>排出量の削減、そしてエネルギーの地産地消の実現を目指し、会社を挙げて研究開発を続けています。



### バイオ燃料の特徴

- ▶軽油の代わりに使える
- ▶CO<sub>2</sub>を吸収する植物が原料なのでカーボンニュートラル
- ▶有害物質が少ない
- ▶廃棄物でエネルギーを循環



## 市内事業所の最先端の取り組み